

令和5年度 公益社団法人 川西市シルバー人材センター 事業報告

令和5年度の日本経済は、コロナ禍の3年間を乗り越えて改善傾向が続き、半導体の供給制約の緩和等に伴う輸出の増加やインバウンド需要の回復等から外需が牽引し、景気は緩やかに回復しました。

一方、社会情勢に目を転じれば、国内ではさらなる人口減少・少子高齢化が進行しており、労働力人口の不足や地域コミュニティの衰退等が加速している状況にあることから、国は、社会保障の支え手を増やす政策を推進しています。

その一つが、就労意欲のある高齢者が70歳まで働き続けられる機会を確保するための環境整備です。令和2年3月には、就業機会の確保を事業主の努力義務とする改正法が成立し、令和3年4月1日から施行されています。

これはシルバー人材センターにとって、会員確保の困難さがより一層増す要因となっており、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）を取り巻く環境は、さらに厳しさを増しています。

このような厳しい情勢ではありますが、就労意欲のある高齢者が生き生きとした生活を送れるような生涯現役社会の実現に向け、高齢者の雇用と社会参加を促進するため、シルバー事業をさらに発展させ、地域の期待に十分こたえられるよう、シルバー人材センターの機能強化や求人先とのマッチング機能の強化など、働きやすい環境を整備することが肝要であり、シルバー事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

川西市シルバー人材センターにおいては、昭和56年11月の設立後40数年が経過するとともに、その法的位置づけを一層明確にすべく平成24年4月に公益社団法人へ移行してからもすでに12年が経過しており、今日、その存在は地域社会にとってなくてはならないものとなっておりますが、その現状に決して甘んじることなく、なお一層の信頼が得られることを目指して、会員の拡大及び請負・派遣の受注先の開拓並びに安全就業の推進等に取り組みました。

実績面においては、会員拡大として定期的な事務局での入会説明会開催に加え、毎年実施している出張入会説明会を令和5年度も開催しました。また、市商工会が主催する市内企業のPRイベントへの参加や、出張入会説明会等に合わせた市内全戸への啓発チラシを複数回配布しました。その結果、令和5年度末の会員数は1,221人になり、前年度から43人（3.7%）と大きく増加しました。

次に受託・派遣事業では、令和4年度に川西市から受託した「高齢者等防災啓発事業」（防災啓発を目的として、70歳以上の高齢者と避難行動要支援者へ防災備蓄品を配布する業務）が、令和5年5月に完了しました。このほか、毎年の最低賃金の上昇に加え、諸物価の高騰など様々な要因を勘案し、センター創設以降初めて事務費率を改定（10%を11%）したことで、契約金額の減少も予想しましたが、派遣事業を始め全

体としては堅調に推移したことで、「高齢者等防災啓発事業」を除くいわゆる通常ベースでの契約金額は、前年度を上回る結果になりました。受託事業と派遣事業の合計では、受注件数は2,823件と前年度比1.8%の減になり、就業延人員は86,687人で0.6%の増、契約総額は417,670千円で5,367千円の増(1.3%の増)でした。

しかしながら、安全就業に関しては、令和2年度の13件をピークに令和4年度までは毎年半減していましたが、令和5年度は過去10年間で2番目に多い10件(請負・派遣合計)の事故が発生しました。

このような緊急事態ともいえる状況を重視し、令和6年度は「安全はすべてに優先する」の基本方針を今一度明確にする必要があります。そのためにも、安全指導やパトロールの内容を見直すだけでなく、専門家によるチェックを受けるなど、従来にはなかったアプローチからの取り組みを考えるほか、他市センターの事故防止対策なども参考にしながら、一層の安全就業に取り組んでまいります。

令和5年度の主な事業の取り組み状況は、次のとおりです。

1. 会員の確保と拡充

- (1) 高齢者の就業相談を実施するとともに、会員の就業相談会を1回実施したものの、参加者はいませんでした。
 - ・令和5年7月21日開催
- (2) 新規会員加入の入会説明会を、年間延べ58回開催しました。
- (3) 出張入会説明会を2回開催し、計59人が参加しました。開催にあたっては、事前に市内全戸へのPRチラシを配布しました。
 - ・北陵公民館 (11月16日開催) 27名参加
 - ・アステホール (11月27日開催) 32名参加
- (4) 川西市商工会が主催する「川西フェスタ2023」に参加しました。15名の市民等が、当センターのブースを訪問しました。
 - ・キセラ川西せせらぎ公園 (10月15日開催)
- (5) 1月22日にハローワーク伊丹と(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が共催する「高齢者就職支援セミナー」に参加し、センターのPRをしました。

2. 就業機会の開拓と拡大

(1) 職群別事業実績（受託事業）

事 項		受注件数 (件)	就 業 延 べ 人 員 (人日)	事 業 収 入 額 (円)
区 分				
職 群 別 内 訳	技 術 群	7	357	1,869,873
	技 能 群	1,006	2,846	41,442,684
	事 務 整 理 群	97	534	2,075,338
	管 理 群	40	9,900	41,960,928
	一 般 作 業 群	1,451	46,531	197,539,005
	サ ー ビ ス 群	124	6,274	24,768,024
	小 計	2,725	66,442	309,655,852
高齢者等防災啓発事業		1	122	8,734,400
合 計		2,726	66,564	318,390,252

(2) 職群別事業実績（派遣事業）

事 項		受注件数 (件)	就 業 延 べ 人 員 (人日)
区 分			
職 群 別 内 訳	技 術	11	1,397
	事 務	2	332
	サ ー ビ ス	35	8,581
	生 産 工 程	4	332
	清 掃 等	46	9,603
	合 計	98	20,245

(手数料等)

(単位：円)

センター手数料	賃金等（兵シ協）	合 計
9,368,700	98,645,604	108,014,304

注：受託事業 318,390,252 円 + 派遣事業 108,014,304 円 = 合計 426,404,556 円

- (3) 令和4年度に川西市から受託した「高齢者等防災啓発事業」業務が令和5年5月に終了しました。令和5年度の収入額は8,734千円でした。
- (4) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」として、シルバー派遣事業及び就業開拓等に取り組みました。
- (5) 独自事業では、パソコン訪問事業及び墓清掃事業を実施し、収入額は210,428円でした。

3. 安全および適正就業の推進と徹底

- (1) 7月の「安全就業強化月間」に基づき、安全委員会による就業現場の巡回視察を令和5年7月3日に実施しました。また、安全就業推進員による安全パトロールを定期的実施し、会員の就業に応じた安全意識の向上に努めました。
- (2) 会員の安全就業に対する意識の高揚を図るため、令和5年4月に「安全標語」を募集し、下表の作品が選定されました。

標語作品	最優秀賞	気のゆるみ 危険の影が 忍びよる
	優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・“まあいいか” 軽い油断が 重い事故 ・大丈夫! その慢心に 潜む事故 ・一日を 気をゆるめずに いい仕事

- (3) 会員の就業に必要な安全講習会を実施しました。

開催日	講習名	参加者	場所
令和5年10月18日	救命救急	17名	シルバー人材センター会議室
令和6年2月7日	交通安全	19名	シルバー人材センター会議室

- (4) (公社)兵庫県シルバー人材センター協会と連携して、令和5年7月に「刈払機取扱業務安全衛生教育」を当センターで実施し、13名が参加しました。

4. 組織体制（会員・事務局）の活性化と強化

【会員の体制】

- (1) 職群班活動等をとおして、「自主・自立、共働・共助」への意識向上を図りました。
- (2) 会員の同好会活動により、会員相互の親睦が図られました。
- (3) 会員の知識や技能の向上を目的とした講習会等の他、高齢者が関心を抱く講習会を実施し、会員の技術力の向上等に努めました。

開催日	テーマ	講師	参加者	場所
令和5年9月15日	手打ちそば	林 みつこ氏 吉田 裕彦氏	20名	川西公民館 調理室
令和5年10月3日	認知症サポーター 養成講座	川西市地域包括 支援センター	28名	シルバー人材センター 会議室
令和6年1月17日 1月31日	毛筆筆耕	会員 西富 依久子	23名	シルバー人材センター 会議室

令和6年1月19日	スマートフォン	ドコモショップ 川西店	15名	シルバー人材センター 会議室
-----------	---------	----------------	-----	-------------------

(4) センターの普及啓発活動の一環として、(公社)兵庫県シルバー人材センター協会との共催により、令和5年9月に「すてきライフプラン講座」を開催し、市民を含む11名が参加しました。

(5) 会員と就業に関する分析や検討に伴う「意見交換」を行うなど、事業運営の活用に努めました。

開催日	職群・職班名	テーマ	参加者	場所
令和5年5月11日	機械刈除草班	機械刈除草業務について意見交換	19名	シルバー人材センター 会議室
令和5年5月15日	植木剪定育成班	植木剪定業務について意見交換	20名	シルバー人材センター 会議室
令和5年5月31日	手刈除草班	手刈除草業務について意見交換	18名	シルバー人材センター 会議室
令和6年3月4日	手刈除草班	手刈除草業務について意見交換	12名	シルバー人材センター 会議室
令和6年3月12日	機械刈除草班	機械刈除草業務について意見交換	18名	シルバー人材センター 会議室
令和6年3月19日	植木剪定育成班	植木剪定業務について意見交換	14名	シルバー人材センター 会議室
令和6年3月22日	家事援助サービスグループ	家事援助業務について意見交換	6名	シルバー人材センター 会議室
令和6年3月26日	配布班	配布業務について意見交換	14名	シルバー人材センター 会議室
令和6年3月27日	自転車駐輪場整理グループ	自転車整理業務について意見交換	4名	シルバー人材センター 会議室
令和6年3月28日	公民館管理グループ	公民館管理業務について意見交換	18名	シルバー人材センター 会議室

※ 令和5年5月に開催した植木剪定育成班、手刈除草班、機械刈除草班の意見交換につきましては、令和4年度分からの順延です。

【事務局の体制】

(1) 平成28年度に策定した「中期計画」に掲げているチャレンジ項目等の達成に向け、計画促進のための進行管理に努めました。

- (2) 令和5年6月、8月、10月、12月に「中期計画策定委員会」を開催し、12月4日に委員会から答申を受けました。答申内容は令和6年3月に開催した「令和5年度第4回理事会」にて審議の後、承認されました。

5. 積極的な広報・啓発活動の展開

- (1) ホームページに「センターだより」や各種情報を掲載するなど、事業拡大等への活用による情報発信を行い、事業の普及啓発に努めました。
- (2) 機関紙「センターだより」を年3回発行し、センターと会員との情報の共有や、安全就業への意識啓発等に取り組みました。

第158号	令和5年7月号を発行
第159号	令和5年11月号を発行
第160号	令和6年3月号を発行

- (3) 毎年10月に全国一斉で実施する「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」活動の一環として、令和5年10月16日にボランティア活動を行いました。会員12名が参加して国道173号線の鼓が滝～多田地域を清掃し、センターのPR活動を実施しました。